

2019年9月5日

各 位

会 社 名 宇部エクシモ株式会社
本社所在地 東京都中央区日本橋富沢町9番19号
問 合 せ 先 経営管理本部長 多 田 厚 美
Tel 03-6667-2411

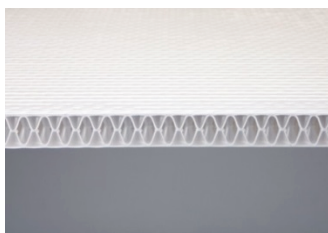
「ツインコーン®」の災害用貯水タンクへの採用について

宇部エクシモ株式会社（社長：高橋俊充）のポリプロピレン中空構造板（商品名：「ツインコーン®」）を用いた「災害用貯水タンク」（開発・販売元：株式会社山口商会、社長：山口啓介）の採用が、各自治体の水道局で拡大している。

近年、地震や大雨などによる自然災害の増加・大規模化に伴い、緊急時の水の確保は、住民の暮らしと生命に関わる最も重要なテーマとなっている。災害時、ペットボトル等の保存水で最低限の飲料水は確保できるものの、時間の経過とともに手洗い、洗い物、トイレなどに用いる生活用水を含めた水の確保が、衛生的な環境を維持する上で重要となる。

山口商会が開発した「災害用貯水タンク」は、ポリプロピレン製の外装パネルと、貯水用のポリエチレン製内袋で構成される組立式の仮設貯水タンクで、ステンレスやプラスチック成形品のタンクに比べて、軽く、安価で、衛生的であることに加え、組立・設置も容易で平時の保管スペースを削減できる。通常、水槽等にプラスチック製パネルを用いる場合は、水圧によるパネルの変形が課題となるが、内部にコーン状の独自ハニカム構造を有し、曲げ剛性に優れる「ツインコーン」を外装パネルに用いることで、金属フレーム等による補強を必要としない軽量で低コストの貯水タンクを実現した。最大容量は1,000ℓ、飲料水換算で数百人分の水を貯水可能で、避難所等の給水拠点に設置し、給水車からの水を一時保管することで、給水車の待機時間を減らし、効率的な巡回給水を実現する。また、併せて開発した300ℓタイプは、軽自動車でも運搬が可能で、被災地のニーズに合わせた機動的な運用にも寄与する。昨年の西日本豪雨では、被災した岡山県倉敷市で実際に使用され、被災者はもとより災害ボランティアに対しても復旧活動に必要な水を供給することができたとして非常に高い評価を受けている。

宇部エクシモでは、従来から大型コンテナボックスやスリーブケース等の物流資材向けに「ツインコーン」を販売してきたが、耐水性があり、軽量かつ剛性に優れる特長を活かし、液体の保管や運搬用途への展開を目指している。



「ツインコーン」断面写真



貯水タンク



移動式貯水タンク